

清高ミニタイムス

New 教頭先生 美人さん

大樹高校から着任した田中裕子教頭は、本校を「活発そうな印象」と語る。自身の楽しい高校生活「毎日が楽しく遊びに行っているような感覚」が教員を目指したきっかけと話す。家庭科専門で「服好き」が高じて今の道へ。



生活情報誌「LDK」を愛読し、洗剤を選びながら洗濯するのが好きだという家庭的な一面も持つ。清水町については帯広に近すぎず、遠すぎない距離と感じていると語り「清水高校が安心して過ごせる場となるよう大切にしたい」と抱負を述べた。



数学担当の山内貴大(たかひろ)先生は 4 月 11 日生まれの 38 歳。春らしいピンクのYシャツを着こなす姿が印象的だ。柔道は小学 4 年から始め、現在は黒帯の段位を持つ腕前。

休日はジムやプールで汗を流し、1 週間分のお弁当を作り置きするなど、ストイックで計画的な一面も覗かせる。そんな山内先生が教員を志したきっかけは、実にユニークだ。前職の建設関係の企業で働いていた際、柔道の大会で審判をしていたところ、ある「ハイカラなおじさん」から教員試験の受検をすすめられたという。その言葉でわずか 3 ヶ月間の猛勉強をして合格を勝ち取った。異色の経歴と目標に向かって突き進む集中力。そのバイタリテイ溢れる姿勢は、授業を通じて生徒たちにも大きな刺激を与えてくれるだろう。

着任者紹介 ②

~ WELCOME TO SHIMIZU ~

清高ミニタイムス
北海道清水高等学校
新聞局
発行責任者
櫻井 心結

手を夢見ていた頃も。好きなチームはイングランドのマンチェスターシティだそう。サッカー部の顧問になって、毎日生徒と一緒に楽しんで部活をしているようだ。

趣味は音楽、スポーツ、ゲームと幅広い。清水高校の生徒の第一印象を訪ねると「明るい」と答えてくれた。今は「授業を教える難しさ」に直面しているようだ。インタビュ

中は、控えめな印象を受けたが、部活指導では違う熱い表情を見せてくれるに違いない。



佐藤 Teacher

青森県出身の山田姫慧(きえ)先生は、七夕の 7 月 7 日が誕生日というロマンチックな記念日の持ち主だ。スポーツも得意で小学校 4 年生から高校 3 年生までの 9 年間、サッカーに打ち込んだ経験を持つ。そんな山田先生の趣味はズバリ「推し活」。アイドルグループ「超特急」の草川拓弥さんの大ファンで頻繁にライブへ足を運ぶという。他にも、「嵐」や「WEST」など、多彩なファンクラブにも所属する筋金入りのアイドル好きだ。

非常に気さくで親しみやすい山田先生。共通の趣味がある人も、そうでない人も、ぜひ積極的に話しかけてみてはどうだろうか。



山田先生

釧路市出身の理科(生物が専門)の佐藤琉斗先生。小学校 1 年生から中学校 3 年生までと、大学 4 年間にサッカーをしていた。幼い頃はプロサッカー選